ふくしの杜ほんじょうプラン 21

（第２期本庄市地域福祉計画・第２期本庄市地域福祉活動計画）

進捗管理シート（令和２年度取組状況）

社会福祉法人本庄市社会福祉協議会

基本戦略１　市民の生活を支える仕組みづくり

頁	重点的取組	担当係
1	①相談支援機能の強化と相談体制の整備	庶務係
2		地域福祉係
3	②個別相談窓口の再構築	社会福祉係
4	③ボランティアセンターにおける個別ニーズ対応の拡充	地域福祉係
5	①福祉窓口としての周知と利用の促進	社会福祉係
6	②地域の公共施設等と連携した情報提供体制づくり	地域福祉係
7		庶務係
8	③サービス利用につながりにくい人への支援の検討	地域福祉係
9	①生活困窮者等への支援事業の実施	社会福祉係
10	②相談支援機能の強化と相談体制の整備（再掲）	庶務係
11		地域福祉係
12	③有償家事援助サービス事業の拡充	地域福祉係
13	①福祉サービス利用援助事業の推進	社会福祉係
14	②法人成年後見事業の実施	社会福祉係
15	③権利擁護人材の発掘・育成	社会福祉係
16	④成年後見制度の普及啓発	社会福祉係
17	⑤制度の狭間の人への支援	社会福祉係
18	①相談支援機能の強化と相談体制の整備（再掲）	庶務係
19		地域福祉係
20	②更生保護団体との連携	社会福祉係
21	③更生保護運動への協力	社会福祉係
22	①災害ボランティアセンターの設置・運営体制の整備	地域福祉係
23		地域福祉係
24	②災害ボランティアの養成	地域福祉係
25	③被災者支援のための相談支援体制の整備	地域福祉係
26	①障害への理解を深めるための市民向け研修会等の開催	地域福祉係
27		庶務係
28	②学校等と連携した福祉教育の充実	地域福祉係
29	③地域共生社会の実現に向けた意識の醸成	地域福祉係
30	①有償家事援助サービス事業の拡充（再掲）	地域福祉係
31	②移動支援を行う団体への育成・支援の検討	地域福祉係
32	①住居に関する相談への対応	社会福祉係
33	②空き家の福祉的利用の促進	地域福祉係

基本戦略２　人と人とのつながりづくり

頁	重点的取組	担当係
34	①相談支援機能の強化と相談体制の整備（再掲）	庶務係
35		地域福祉係
36	②小地域における住民の福祉活動の組織と活動拠点の整備	地域福祉係
37	③当事者組織の支援	地域福祉係
38	④福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討	社会福祉係
39	⑤サロン活動の推進	地域福祉係
40	①多職種連携の推進	社会福祉係
41	②社会福祉法人相互の連携体制づくり	社会福祉係
42	③職能団体等の組織化支援の検討	地域福祉係

基本戦略３　地域で共に生きるための人づくり

頁	重点的取組	担当係
43	①学校等と連携した福祉教育の充実（再掲）	地域福祉係
44	②学生の福祉意識の醸成に向けた取り組み	地域福祉係
45	③福祉教育ボランティアの育成	地域福祉係
46	①多様なニーズに対応したボランティアの育成	地域福祉係
47	②ボランティアコーディネート機能の充実	地域福祉係
48	③地域における福祉人材の発掘・育成	地域福祉係
49	①民生委員・児童委員等支援関係者の支援	地域福祉係
50	②多職種連携の推進（再掲）	社会福祉係

基本戦略４　計画推進体制の発展・強化

頁	重点的取組	担当係
51	①業務・財務分析や事務局の体制強化	庶務係
52	②相談支援機能の強化と相談体制の整備（再掲）	庶務係
53		地域福祉係
54	③社会福祉協議会の認知度の向上	庶務係
55	④社協会員の増強	社会福祉係
56	①会費、寄附金の確保	社会福祉係
57	②事業の透明化	庶務係
58	③寄附意識の醸成	庶務係
59	④基金の適正活用	庶務係
60	⑤共同募金運動の推進	社会福祉係

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	相談支援の仕組みづくり
重点施策	① 包括的な相談支援体制の構築
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（１）
	概　要 市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入	組織内研修の実施・階層別研修の実施		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型研修の中止を余儀なくされました。代わりにオンライン化が進み、オンラインでの受講環境を整えました。組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、コンプライアンス研修・個人情報保護研修、接遇研修、感染症予防講習会等を実施し、組織内研修の充実を図りました。また、OJTを導入し、若手職員の育成に努めました。	感染症予防講習会の実施により、感染症の予防方法を学びました。また、接遇研修等で相談対応の基礎について改めて学び、信頼性の向上と組織発展の双方に有効な取組を図ることができました。また、OJTは３名の若手職員に年間通して教育・指導を行いました。

自己評価	今後の方針
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、階層別研修において、職員としての自覚の醸成が図れるよう研修内容を検討し、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるよう、職員の育成に努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	相談支援の仕組みづくり
重点施策	① 包括的な相談支援体制の構築
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（２） 概　要 日常生活圏域（中学校区域）ごとにCSW を配置して、市民の生活課題をアウトリーチするための相談体制を整えます。また、CSW は個別支援とともに地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	調査研究・CSWの暫定的な配置			CSWの配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置には至っておりませんが、市民からの相談対応や民生委員・児童委員活動の支援を通じて、地域住民の生活支援に取り組みました。また、個別支援を通じた地域支援活動の展開を目指し、地域住民とともに新たな支え合いの仕組みづくりに向けた協議を行いました。そのほか、コロナ禍で活動再開に不安を抱えるサロン運営者を対象に個別相談会を開催するなど、地域福祉実践者の活動支援に取り組みました。	コミュニティ・ソーシャル・ワークを通じて、市民の生活不安に寄り添いながら必要な支援につないだり、地域住民との協働による個別ニーズに基づく地域支援活動に取り組むことができました。

自己評価	今後の方針
B	地域ごとにサロン担当者を配置して、よりきめ細かい相談支援活動に取り組みます。また、引き続きコミュニティ・ソーシャル・ワークにより個別支援・地域支援活動に取り組みながら、各職員がスキル向上に務め、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	相談支援の仕組みづくり
重点施策	① 包括的な相談支援体制の構築
重点事項・重点的取組	事　業：個別相談窓口の再構築 概　要：「心配ごと相談」「結婚相談」等、社協が開設する個別相談窓口について、市民の利用しやすさ等を考慮して、相談員や関係機関と協議しながら、見直し・再構築に取り組みます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	調査研究（相談窓口の検証・関係者との協議）			相談窓口の見直し	
指標目標 ※年度初めに設定	相談体制の検討	相談体制の検討	相談体制の検討		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
心配ごと相談を市から受託して本庄会場及び児玉会場で週１回開設し、仕事、家族、金銭の悩みなどの相談を民生委員・児童委員が２人１組で相談を受けました。結婚相談は第１水曜日及び奇数月の第３日曜日に開設し、主任相談員及び相談員の４名が多くの相談を受けました。成年後見相談を市から受託して毎月２回開設し、相談員アドバイザー１名、相談員１名の２人１組で相談を受けました。自立相談支援窓口業務を市から受託して、職員2名が市役所窓口で相談対応を行いました。	心配ごと相談は年間56件（本庄会場40件、児玉会場16件） 結婚相談は男性52名、女性23名 成年後見相談は年間19件 自立相談支援窓口は年間1,061件

自己評価	今後の方針
A	各相談事業の実績を考慮し、関係者機関と協議しながら、今後も受付方法や相談員等の体制を見直していきます。また、今後も引き続き市民に利用しやすい相談体制の検討に努め、包括的な相談支援体制の構築を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	相談支援の仕組みづくり
重点施策	① 包括的な相談支援体制の構築
重点事項・重点的取組	事　業 ボランティアセンターにおける個別ニーズ対応の拡充 概　要 社協に併設されるボランティアセンターにおいて、個別ニーズに対してマッチング機能を充実します。ちょっとした困りごとから日常生活上のサポートまで、幅広いボランティアによる支え合いを促進します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	調査研究	個別ニーズ対応の拡充			
指標目標 ※年度初めに設定	個別ニーズの把握	ホームページを活用した情報発信	ホームページやSNSを活用した情報発信		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
ボランティア募集ページを定期的に更新して、高校生等の新規ボランティア獲得につながりました（若干名）。また、地域ケア個別会議等に出席して、個別ニーズの状況把握に努めました。コロナ禍においては、リモートでの傾聴の依頼がありましたが、施設とボランティア団体とで協議を重ねた結果、設備が整っていないため未実施となりました。	調査で、コロナ禍でもできる在宅ボランティアの活動ニーズが高まっていることが分かりました。活動をどうマッチングしていくかが新たな課題となっています。【個別ニーズマッチング率】33．3%（3／9）【施設・団体ニーズマッチング率】83．3%（5／6）

自己評価	今後の方針
A	SNS・ホームページやその他の媒体を活用し、個別ニーズに対応できる体制を整えます。また、専門職・関係機関等にボランティアセンターの機能周知を行い、個別ニーズに対応したボランティアの発掘に協力をお願いして、その拡充につなげます。

A達成　B未達成　C検討中　D中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	相談支援の仕組みづくり
重点施策	② 福祉窓口の多チャンネル化
重点事項・重点的取組	事　業 福祉窓口としての周知と利用の促進 概　要 社協は、地域の福祉相談チャンネルの一つとして市民に利用を呼びかけるとともに、利用しやすい窓口の運営に努めます。住民の悩みや不安を受け止めて、適切な窓口やサービスにつないだり、問題点等を整理しながら一緒に解決方法を探ります。また、民生委員・児童委員や地域の福祉実践者の相談窓口としての機能を果たしながら、地域課題の解決に取り組みます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	福祉窓口としての利用の促進				
指標目標 ※年度初めに設定	市広報（年12回）、社協だより（年4回）やホームページの活用	市広報（年12回）、社協だより（年4回）やホームページの活用	市広報（年12回）、社協だより（年4回）やホームページの活用		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市広報、社協だより、ホームページで利用促進を行いました。 心配ごと相談、結婚相談、成年後見相談、自立相談支援窓口業務等を通して、地域における福祉相談窓口を開設しました。	市広報：年12回、社協だより：年4回、ホームページで周知し、次の相談実績となりました。 心配ごと相談：56件、結婚相談：男性52名、女性23名、成年後見相談：19件、自立相談支援窓口：1,061件

自己評価	今後の方針
A	成年後見相談、自立相談支援窓口業務等、潜在的に利用が必要と思われる方に対して、市広報、社協だより、ホームページにより利用促進を行っていきます。

A達成　B未達成　C検討中　D中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	相談支援の仕組みづくり
重点施策	② 福祉窓口の多チャンネル化
重点事項・重点的取組	事　業 地域の公共施設等と連携した情報提供体制づくり（1） 概　要 地域における情報提供の拠点として、公民館や福祉施設、病院等に「ふくしPRコーナー」の設置を呼びかけます。また、各自治会の掲示板等に様々な福祉情報の掲示について協力を呼びかけて、地域一丸となったPR 体制の構築を目指します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	「ふくしPR コーナー」の設置の呼びかけ				
指標目標 ※年度初めに設定	ふくしＰＲコーナーの設置（15か所）	ふくしＰＲコーナーの設置（20か所）	ふくしＰＲコーナーの設置（25か所）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市民のみなさまに福祉情報を提供するためのツールとして、市内医療機関や施設、商店等21か所でカタログスタンドやコルクボードを設置していただき、「ふくしＰＲコーナー」として福祉情報の提供に努めました。	市内21か所（9医療機関・7施設・5商店）にPRコーナーを設置していただき、情報紙・福祉イベントチラシ等の掲示に協力いただきました。

自己評価	今後の方針
A	人が集まる場所に「ふくしＰＲコーナー」の設置を働きかけ、より多くの市民のみなさまに福祉情報が届くように、計画的な増設と情報発信に努めます。

A達成　B未達成　C検討中　D中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	相談支援の仕組みづくり
重点施策	② 福祉窓口の多チャンネル化
重点事項・重点的取組	事　業 地域の公共施設等と連携した情報提供体制づくり（2） 概　要 既存の広報媒体（社協だより・ホームページ等）とともに、ケーブルテレビほか各種メディア等、様々な情報提供ツールの活用について検討します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	各種情報提供ツールの有効活用（社協だより・ホームページ・ケーブルテレビ等）				
指標目標 ※年度初めに設定	ホームページやSNSへの閲覧数の増加(ホームページ閲覧数年間40,000件)	ホームページやSNSへの閲覧数の増加（ホームページ閲覧数年間50,000件）	ホームページやSNSへの閲覧数の増加（ホームページ閲覧数年間60,000件）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
文字やレイアウトに配慮して、誰もが見やすい、わかりやすい広報誌の作成に努め、「読みたくなる魅力的な広報誌」を目指しました。ホームページやSNSでは、タイムリーな情報を掲載することを心がけ、様々な媒体を活用し、情報発信の充実を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、お困りになられている方に対し、多くの情報発信を迅速に発信できるよう努めました。	ホームページの更新回数の増加に努めた結果、アクセス数の増加を伸ばすことができました。また、Facebookでも多くのタイムリーな情報発信を心がけた結果、閲覧数の増加に繋がりました。（ホームページ閲覧数年間70,470件、前年比1.7倍）

自己評価	今後の方針
A	長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日々情報が変化する事態において、市民に必要な情報が必要な時に提供できるよう、わかりやすい情報発信を心掛け、情報提供体制と内容の充実に努めます。また、ケーブルテレビや市内公共施設の紹介映像に手話通訳を取り入れるなど、様々な情報発信の形態に積極的に取り組みます。さらに、災害などの緊急時に備えるために、情報提供の仕組みづくりに取り組み、発信の充実・強化を図ります。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	相談支援の仕組みづくり
重点施策	② 福祉窓口の多チャンネル化
重点事項・重点的取組	事　業 サービス利用につながりにくい人への支援の検討 概　要 サービスの利用を拒む人やサロンがあっても参加しない人が、地域で孤立しているケースも見られます。そうした人ができるだけ地域で孤立しないよう、地域福祉団体やサロン等と連携しながら、サービス利用につながりにくい人への支援を検討します。また、サロン等の場で地域住民の声を聞くため、アウトリーチに努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	サービス利用支援の検討・サロンへのアウトリーチ				
指標目標 ※年度初めに設定	社協だより等でサロン情報の周知を図る	サロン活動周知の継続・新たなサロン活動の展開の検討	サロン活動周知の継続・新たなサロン活動の展開の検討		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
社協だよりにサロン一覧やコロナ禍でのサロンでの感染症対策の取り組み等を掲載し、サロン情報を市民に広く周知するとともに、市や地域包括支援センター、民生委員・児童委員協議会等と連携しながら情報発信を行い、サロン参加への潜在的なニーズの発掘に努めました。また、地域ケア会議にて、孤立しがちな方への情報提供を行いました。	社協だよりをご覧になった方から「サロンに参加したい」といった問い合わせが３件ほどありました。また、サロンの状況について、専門職の方々に周知を図ることができました。

自己評価	今後の方針
A	引き続き社協だよりやケーブルテレビ、各種媒体等を活用しながら、サロンの周知に努めます。また、中学校圏域ごとにサロン担当職員を配し、直接参加者の声を聞いて福祉ニーズ等を聞き取りながら、各サロンの特色を生かした様々な取組を支援します。また、自治会や民生委員・児童委員協議会等と連携しながら、サロン参加につながっていない地域住民への働きかけを検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	① 生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・重点的取組	事　業 生活困窮者等への支援事業の実施 概　要 埼玉県内の社会福祉法人で構成する「埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」へ参画して生活困窮者支援に取り組み、制度の狭間にいる人などを対象に、「彩の国あんしんセーフティネット事業」を実施します。また、家庭や企業に食糧等の生活支援物資の提供を呼びかけ、提供食料等を生活困窮者への支援につなぐフードバンクの実施などのほか、制度の狭間にいる人への支援について、地域住民・支援関係者・福祉専門職・関係機関・団体等とともに検討します。				
年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	彩の国あんしんセーフティネット事業・フードバンクの実施・制度の狭間の支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数 15件	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数 18件	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数 18件		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
他制度等で支援が難しい方や制度等へつなげる間の一時的かつ緊急的な場合に、彩の国あんしんセーフティネット事業を市内社会福祉法人と連携して実施し、現物給付等の支援を行いました。なお、4月～6月の期間は新型コロナウイルス感染症の影響で訪問支援が難しいことから事業を休止したため、フードバンク事業での対応を行いました。また、フードバンク事業については、チラシ等で企業や市民へ生活支援物資の寄附について周知を図り、寄附いただいた生活支援物資を生活困窮者へ提供しました。	彩の国あんしんセーフティネット事業相談7件 フードバンク支援291件 新型コロナウイルス対策応援金を利用したフードバンク事業　431世帯 1,252セット 生活支援物資寄附144件

自己評価	今後の方針
B	生活困窮者自立支援事業や社会福祉法人とのより一層の連携を図り、制度の狭間で困窮している方への支援の強化を図ります。また、フードバンクでの対応も増加することが予想されるため、緊急時等に速やかに必要なフードバンク支援が行えるよう、引き続き市民の皆様や企業・団体等への働きかけや寄附の周知を行っていきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	① 生きづらさを抱えている人への支援
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（１）【再掲】 概　要 市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入	組織内研修の実施・階層別研修の実施		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型研修の中止を余儀なくされました。代わりにオンライン化が進み、オンラインでの受講環境を整えました。組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、コンプライアンス研修・個人情報保護研修、接遇研修、感染症予防講習会等を実施し、組織内研修の充実を図りました。また、OJTを導入し、若手職員の育成に努めました。	感染症予防講習会の実施により、感染症の予防方法を学びました。また、接遇研修等で相談対応の基礎について改めて学び、信頼性の向上と組織発展の双方に有効な取組を図ることができました。また、OJTは３名の若手職員に年間通して教育・指導を行いました。

自己評価	今後の方針
A	市民の信頼と期待に応えられる職員の育成を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上のため、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、階層別研修において、職員としての自覚の醸成が図れるよう研修内容を検討し、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるよう、職員の育成に努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	① 生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（２）【再掲】 概　要 日常生活圏域（中学校区域）ごとにCSW を配置して、市民の生活課題をアウトリーチするための相談体制を整えます。また、CSW は個別支援とともに地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	調査研究・暫定的なCSW の配置			CSW の配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置には至っておりませんが、市民からの相談対応や民生委員・児童委員活動の支援を通じて、地域住民の生活支援に取り組みました。また、個別支援を通じた地域支援活動の展開を目指し、地域住民とともに新たな支え合いの仕組みづくりに向けた協議を行いました。そのほか、コロナ禍で活動再開に不安を抱えるサロン運営者を対象に個別相談会を開催するなど、地域福祉実践者の活動支援に取り組みました。	コミュニティ・ソーシャル・ワークを通じて、市民の生活不安に寄り添いながら必要な支援につないだり、地域住民との協働による個別ニーズに基づく地域支援活動に取り組むことができました。

自己評価	今後の方針
B	地域ごとにサロン担当者を配置して、よりきめ細かい相談支援活動に取り組みます。また、引き続きコミュニティ・ソーシャル・ワークにより個別支援・地域支援活動に取り組みながら、各職員がスキル向上に務め、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	① 生きづらさを抱えている人への支援
重点事項・重点的取組	事　業 有償家事援助サービス事業の拡充 概　要 高齢者や障害者など、日常生活の援助を必要とする家庭に対して、市民の協力を得て低廉な料金で家事を援助する「有償家事援助サービス」について、買い物支援や通院支援等といった利用ニーズや現状の生活課題に沿ったサービス内容等の見直しを行います。また、実費弁償費についても見直しを図り、サービス協力者の育成に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	有償家事援助サービス事業のサービス内容等の見直し				
指標目標 ※年度初めに設定	市内専門職・県内他社協を対象にアンケート調査実施	新事業移行に向けた準備	事業リニューアル後の周知及び継続的な見直し		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
日常生活の援助を必要とする多くの方が利用しやすいように、令和元年度に実施したアンケート調査を基に、対象やサービス内容等の検討を行い、令和3年4月から事業内容をリニューアルするための準備を行いました。また、社協だより３月１５日号や居宅介護支援事業所にて新しい事業内容等を周知しました。	協力会員確保を図るために、費用体系を見直すことができました。また、新たに利用対象とした妊娠中の女性が２名、社協だよりをご覧になりお申し込みくださいました。

自己評価	今後の方針
A	事業のリニューアルに伴い、新しく対象になった方等に向けてチラシや社協だより等で事業の周知、及び、協力会員の確保を目指してボランティア情報紙等で会員募集を行います。そのほか、関係機関や専門職等に向けて、継続的にＰＲに努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	② 権利擁護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 福祉サービス利用援助事業の推進 概　要 県社協より受託している福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の普及・利用促進に努め、利用件数増を目指します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	日常生活自立支援事業の推進				
指標目標 ※年度初めに設定	福祉サービス利用援助事業利用件数（１２件）	福祉サービス利用援助事業利用件数（１５件）	福祉サービス利用援助事業利用件数（１８件）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
ホームページや社協だよりで事業の周知を図りました。本人から利用の意思がある場合、訪問による事業説明等を行い、スムーズな利用契約につなげる支援をしました。市の自立相談支援機関と連携し、制度が必要な方に対して、円滑な手続き及びサービスの利用に繋げました。	利用者数１５人（新規契約６件） 相談件数２３件 制度・概要の説明について、本人、家族の他に施設職員、介護支援専門員等の関係者からの相談がありました。

自己評価	今後の方針
A	ホームページや社協だよりで事業の周知を図るとともに、施設等関係機関への制度周知を図ります。また、引き続き、市の自立相談支援機関等との連携を図り、対象者の把握に努め、必要な方を利用へつなげます。潜在的に制度利用が必要な方の発見のために、継続して地域住民の声を聞き、その周囲の支援者に制度を周知していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	② 権利擁護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 法人成年後見事業の実施 概　要 社協の法人成年後見事業は、成年後見の市長申し立てにも対応しています。司法分野等と連携、協力することにより、被後見人が安心して生活できるように積極的に法人成年後見活動を行います。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	法人成年後見事業の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	成年後見人等受任件数の増 受任件数３件	成年後見人等受任件数の増 受任件数4件	成年後見人等受任件数の増 受任件数4件		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市長申し立て案件で３件（後見類型２件、保佐類型1件）受任し、被後見人等の身上監護と金銭管理を行うことで、本人に不利益が生じないようにご本人の権利を守る支援を行いました。 市長申し立て案件を1件、新規受任予定でしたが、申し立て手続き期間中に候補者死亡により受任に至りませんでした。	受任件数３件（新規１件、終了１件）

自己評価	今後の方針
B	権利擁護の必要性が増している状況の中、法人成年後見実施事業所として、本庄市と連携を保ちながらその受任について、社協で行っている福祉サービス利用援助事業から成年後見制度への必要に応じた移行も含め検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	② 権利擁護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 権利擁護人材の発掘・育成 概　要 市と連携して、権利擁護人材の発掘・育成に努めます。地域のNPO 団体と協力して、権利擁護人材の活動を支援します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	権利擁護人材の発掘・育成				
指標目標 ※年度初めに設定	市民後見人養成講座参加者15名	法人向け後見人養成講座参加者15名	市民後見人養成講座フォローアップ研修参加者15名		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市からの受託により、法人後見従事者向け成年後見制度研修を全５回開催し、地域において法人後見活動を担う権利擁護人材の発掘・育成に努めました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、密を避けるため、定員を10名程度と縮小し開催をしましたところ、定員いっぱいの受講希望がありました。	法人後見従事者向け成年後見制度研修全5回開催、１１名参加

自己評価	今後の方針
B	市からの受託により、令和3年7月に、中核的拠点である本庄市成年後見サポートセンターを開設し、その中で市民後見人や法人後見の担い手を養成する研修等の開催を継続的に行い、権利擁護人材の育成を推進していきます。開催方法についても、オンラインの導入等、社会情勢を踏まえ、参加者が受講しやすい実施方法等の検討を行います。また、受講後の活動への支援等についても市と連携し検討をしていくとともに、後見に関連する地域のNPO法人等とも連携を図る機会を設けていきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	② 権利擁護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 成年後見制度の普及啓発 概　要 広報、ホームページ等により成年後見制度の普及啓発に取り組みます。地域のNPO 法人と協力して、成年後見制度の普及に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	成年後見制度の普及啓発				
指標目標 ※年度初めに設定	成年後見制度の広報等による啓発	成年後見制度の広報等による啓発・地域のNPO法人との情報交換会の開催	中核的拠点の受託運営・中核的拠点機関及び成年後見制度の啓発		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市からの受託により成年後見相談を開設し、市民からの相談の機会を設けました。社協だより等による広報啓発を行い、権利擁護と成年後見制度の普及を行いました。	成年後見相談の周知のため、市広報・社協だより（毎戸配布）への掲載及びチラシを作成配布し、成年後見制度の普及を行いました。 成年後見相談19件

自己評価	今後の方針
A	市からの受託により、令和3年7月に、中核的拠点である本庄市成年後見サポートセンターを開設し、広報、社協だより、パンフレット等により新しい機関として周知を図っていきます。また、引き続き、成年後見制度について関係者等に向け、市広報及び社協だよりやパンフレット、SNS等による周知を強化していき、成年後見制度を必要とする利用者やその家族が相談、利用できるよう整備していきます。

A達成　B未達成　C検討中　D中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	② 権利擁護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 制度の狭間の人への支援 概　要 制度の狭間にいる人への支援について、地域住民・支援関係者・福祉専門職・関係機関・団体等と連携して取り組みます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	制度の狭間の人への支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	自立相談支援事業新規 相談受付件数　144件 （国の指標による）	自立相談支援事業新規 相談受付件数　144件 （国の指標による）	自立相談支援事業新規 相談受付件数　144件 （国の指標による）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
自立相談支援事業業務を市より受託し、生活保護に至る前段階の自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する相談支援を行いました。複合的な課題を抱える相談者等が「制度の狭間」に陥らないよう、必要に応じた包括的な支援を行い、自立の促進を図りました。新型コロナウイルス感染症の影響により、生活にお困りの方の相談に応じ、自立に向けた支援を行うとともに、県社協の特例貸付（総合支援資金）の申請者が円滑な手続き及び継続的支援に繋がるよう支援しました。	新規相談受付件数1,061件 指標目標件数を上回る相談受付を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、生活にお困りの方が県社協の特例貸付借入の際に自立相談窓口への相談が必要であり、件数が増加しました。

自己評価	今後の方針
A	課題を抱える相談者等が「制度の狭間」に陥らないよう、関係機関と連携し相談者の必要に応じた包括的な支援を行い相談者の自立の促進を図ります。潜在的に制度利用が必要な方の発見のために、継続して地域住民の声を聞き、その周囲の支援者に制度を周知していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	③ 更生保護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（１）【再掲】 概　要 市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入	組織内研修の実施・階層別研修の実施		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型研修の中止を余儀なくされました。代わりにオンライン化が進み、オンラインでの受講環境を整えました。組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、コンプライアンス研修・個人情報保護研修、接遇研修、感染症予防講習会等を実施し、組織内研修の充実を図りました。また、OJTを導入し、若手職員の育成に努めました。	感染症予防講習会の実施により、感染症の予防方法を学びました。また、接遇研修等で相談対応の基礎について改めて学び、信頼性の向上と組織発展の双方に有効な取組を図ることができました。また、OJTは３名の若手職員に年間通して教育・指導を行いました。

自己評価	今後の方針
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、階層別研修において、職員としての自覚の醸成が図れるよう研修内容を検討し、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるよう、職員の育成に努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	③ 更生保護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（２）【再掲】 概　要 日常生活圏域（中学校区域）ごとにCSW を配置して、市民の生活課題をアウトリーチするための相談体制を整えます。また、CSW は個別支援とともに地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	調査研究・暫定的なCSW の配置			CSW の配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置には至っておりませんが、市民からの相談対応や民生委員・児童委員活動の支援を通じて、地域住民の生活支援に取り組みました。また、個別支援を通じた地域支援活動の展開を目指し、地域住民とともに新たな支え合いの仕組みづくりに向けた協議を行いました。そのほか、コロナ禍で活動再開に不安を抱えるサロン運営者を対象に個別相談会を開催するなど、地域福祉実践者の活動支援に取り組みました。	コミュニティ・ソーシャル・ワークを通じて、市民の生活不安に寄り添いながら必要な支援につないだり、地域住民との協働による個別ニーズに基づく地域支援活動に取り組むことができました。

自己評価	今後の方針
B	地域ごとにサロン担当者を配置して、よりきめ細かい相談支援活動に取り組みます。また、引き続きコミュニティ・ソーシャル・ワークにより個別支援・地域支援活動に取り組みながら、各職員がスキル向上に務め、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	③ 更生保護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 更生保護団体との連携 概　要 保護司会、更生保護女性会との連携を強化し、更生保護ボランティア団体と協力することにより、刑余者への支援に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	更生保護団体と連携し、刑余者の社会復帰に向けた支援に取り組む。				
指標目標 ※年度初めに設定	更生保護団体との連携強化	更生保護団体と連携強化し、自立相談支援事業の周知を図る。	更生保護団体と連携強化し、自立相談支援事業の周知を図る。		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、保護司会等の会議が開催されず、制度の案内と協力の連携について依頼することができませんでした。	職員が保護司会の会議に出席できず、制度の案内と協力や連携について依頼することができませんでした。

自己評価	
B	保護司会等の会議等の場に参加させていただくとともに、更生保護団体との連絡体制等の整備についても検討をしていきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	③ 更生保護の推進
重点事項・重点的取組	事　業 更生保護運動への協力 概　要 社会を明るくする運動や更生保護関係の講演会、研修会等への参加について、市民に呼びかけ、更生保護運動に協力します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	更生保護運動への協力				
指標目標 ※年度初めに設定	運動や講演会等への参加	運動や講演会等への参加	運動や講演会への参加		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、社会を明るくする運動は中止となり、職員が街頭キャンペーンや講演会に参加できませんでした。	社会を明るくする運動が中止となり、職員が街頭キャンペーンや講演会に参加できませんでした。

自己評価	今後の方針
B	引き続き、社会を明るくする運動に参加し、運動の周知や啓発物品の配付により啓発活動に協力していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	④ 災害時における支援体制の構築
重点事項・重点的取組	事　業 災害ボランティアセンターの設置・運営体制の整備（1） 概　要 災害発生時に想定される様々な対応について、「災害対応マニュアル」の策定（見直し）を行います。また、災害時に備えるため市及び関係機関・団体と協議する場を設けるとともに、日頃からの交流促進に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	災害対応マニュアルの策定		災害対応マニュアルの点検		
指標目標 ※年度初めに設定	市関係課と協議開始・災害対応マニュアル（案）の策定	市関係課との協議継続・災害対応マニュアル（案）の検証	関係団体との協定締結・マニュアルの点検		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市危機管理課・地域福祉課・市民活動推進課と、災害時のボランティア対応に関する協議を行い、災害対策本部と社協との連携について確認を行いました。	市関係課と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協議を行い、令和３年４月１日付で協定書を締結する準備が整いました。

自己評価	今後の方針
A	災害ボランティアセンター運営時の協力体制を整えるため、地域の災害支援関係団体等と相互支援・連携を目的とした協議の場を設け、共通認識が図れるよう働きかけていきます。併せて、災害ボランティアセンター運営マニュアルの点検を行います。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	④ 災害時における支援体制の構築
重点事項・重点的取組	事　業 災害ボランティアセンターの設置・運営体制の整備（2） 概　要 災害対応マニュアルに基づき、有事の際に職員がみな役割を認識して必要な行動がとれるよう、定期的に「災害ボランティアセンター運営訓練」等を実施します。センターの運営には社協職員だけでなく市職員・ボランティア等の協力も必要なことから、住民等に広く参加を呼びかけます。また、有事の際に連携が取れるよう、日頃から他市町村社協との交流や情報交換に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	災害ボランティアセンター運営訓練の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	社協職員対象運営訓練の実施	社協職員対象運営訓練の実施	訓練等の実施及びマニュアルの点検		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
災害ボランティアセンター運営マニュアルをもとに、全職員を対象に、災害ボランティアセンター運営模擬訓練を行いました。講師として県社協職員を招き、市の関係課も同席のうえ、運営の流れの確認や災害時の業務継続について検討しました。	模擬訓練により、全職員が災害ボランティアセンターの流れを確認することができました。

自己評価	今後の方針
A	運営訓練に拘らず、感染症対策を含む様々な局面でのチーム対応を想定した研修や訓練を実施するとともに、実際の活動をイメージしながら適宜マニュアル内容を点検するよう努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	④ 災害時における支援体制の構築
重点事項・重点的取組	事　業 災害ボランティアの養成 概　要 社協ボランティアセンターの災害ボランティア育成を目的として、定期的に「災害ボランティア養成講座」を開催し、災害ボランティアの養成に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	災害ボランティア養成講座の開催（年１回）				
指標目標 ※年度初めに設定	セミナー開催（150人参加）	養成講座開催（参加者30名）	ボランティア募集及び登録更新（要綱整備）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
２月に群馬県災害派遣福祉チーム（ぐんまDWAT）事務局の方を講師に災害ボランティア養成講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としました。ただし、社協だより等で新規ボランティアを募集しました。	災害ボランティア新規登録３名

自己評価	今後の方針
B	定期的に災害ボランティアを募集するとともに、災害ボランティア活動の円滑かつ効果的な運用を図るため、災害ボランティア登録要綱を整備して「登録要件・個人情報の取扱い・情報提供体制」等を整えます。また、登録いただいている災害ボランティアに対して情報発信を行いつつ、新型コロナウイルスの状況をみながら養成講座を再開していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	横断的なサービスづくり
重点施策	④ 災害時における支援体制の構築
重点事項・重点的取組	事　業 被災者支援のための相談支援体制の整備 概　要 市及び関係機関・団体と連携し、災害時に専門的な相談支援を行うための体制づくりを検討していきます。また、災害ボランティアセンターを開設した場合に、迅速に情報提供が行えるように各種団体との連携を強化します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	準備期間	関係団体等協議の場をつくる			
指標目標 ※年度初めに設定	市関係課等と協議を行い、方向性を検討する。	市内の災害関連ボランティア団体等と協議の場をつくる。	災害関連ボランティア団体等との協議継続・災害支援協定締結		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市危機管理課・地域福祉課・市民活動推進課と、災害時のボランティア対応に関する協議を行い、災害対策本部と社協との連携について確認を行いました。また、災害関連ボランティア団体との協定締結に向けて協議を開始しました。	市関係課と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協議を行い、令和３年４月１日付で協定書を締結する準備が整いました。

自己評価	今後の方針
A	災害ボランティアセンター運営時の協力体制を整えるため、地域の災害支援関係団体等と相互支援・連携を目的とした協議の場を設け、共通認識が図れるよう働きかけていきます。また、災害派遣福祉チーム（DWAT）の受け入れの流れをマニュアル化すること等について検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	人にやさしい生活環境の充実
重点施策	① ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり
重点事項・重点的取組	事　業 障害への理解を深めるための市民向け研修会等の開催（１）
	概　要 障害についての理解、様々な障害の特性への理解を深めることを目的とした市民向けの研修会を設けます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	研修会の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	講座・イベント等の開催（５件）	講座・イベント等の開催（８件）	講座・イベント等の開催（７件）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた多くの講座やイベントが中止となり、目標件数には至りませんでした。 【実施講座等名】①手話奉仕員養成講座（入門課程）・②おうちでボランティア！（在宅ボランティアの呼びかけ）・③障がい者作品展（Web開催）	内容を工夫しながら、講座及びイベント3件を開催しました。 【参加者数等】①１０名②１４名 ③サイト訪問397人（閲覧1,115回）

自己評価	今後の方針
B	思いやりのあるまちづくりを目指して、障害について正しい理解を得られる企画を検討します。また、今後の感染症拡大状況や対象者等の事情に合わせ、開催方法や内容等を検討しながら市民が参加しやすいイベント・講座等の開催を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	人にやさしい生活環境の充実
重点施策	① ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり
重点事項・重点的取組	事　業 障害への理解を深めるための市民向け研修会等の開催（２） 概　要 広報等でユニバーサルデザインやバリアフリー、障害者差別解消法等の周知を行い、市民の福祉意識の向上へつなげます。また、社協業務においても合理的配慮の提供に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	広報等での周知				
指標目標 ※年度初めに設定	ホームページ閲覧数の増加（年間40,000件）	ホームページ閲覧数の増加（年間50,000件）	ホームページ閲覧数の増加（年間60,000件）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により、共学支援プログラム等は中止となりましたが、広報活動は、迅速に情報発信ができるようユニバーサルデザインに配慮した作成を心掛けました。また、ホームページやSNSの充実を図り、情報のバリアフリーの推進にも取り組みました。	社協だよりやチラシ作成でユニバーサルデザインを使用するなど、より見やすい広報活動に心掛けました。また、ホームページやSNSは、迅速な情報発信に努めました。（ホームページ閲覧数年間70,470件）

自己評価	今後の方針
A	障害のある人等の人権・疾病などに関する理解を深め、心のバリアフリーを推進するために、あらゆる機会や場において、啓発・広報活動の充実を図ります。また、引き続きユニバーサルデザインに配慮した広報活動やホームページの充実を図るとともに、支援を必要とする人への情報提供体制の充実にも努め、心と情報のバリアフリー化を推進します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	人にやさしい生活環境の充実
重点施策	① ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり
重点事項・重点的取組	事　業 学校等と連携した福祉教育の充実 概　要 体験学習だけでない心のバリアフリーを目指した福祉学習の在り方等について学校、行政、当事者等と連携し、検討実施します。併せて、研修会やプログラム集の作成等といった福祉学習を行う教職員への支援を行います。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	教員向け研修会の実施・福祉教育プログラム集の作成		プログラム集に基づいた福祉教育の実施・検証		
指標目標 ※年度初めに設定	プログラム集の素案作成	障害平等研修（ＤＥＴ）の実施・プログラム集完成	プログラム集の完成		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市内の福祉教育推進校へ現在の取組について聞き取りを行い、無理のない新たなプログラムが提案できるよう作成に取り組みましたが、完成には至りませんでした。障害平等研修（DET）は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としました。	障害当事者との交流は動画を用いるなどして、学校教員と連携して感染症対策をとりながら体験学習を実施しました。

自己評価	今後の方針
B	プログラム完成に向け、市や関係団体・教員への協力を仰ぐとともに、自校の取組の参考にしていただけるよう、他校の取組を紹介するなどの支援を行います。障害平等研修（DET）は、新型コロナウイルス感染症の状況等を見ながら開催を検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	人にやさしい生活環境の充実
重点施策	① ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり
重点事項・重点的取組	事　業 地域共生社会の実現に向けた意識の醸成 概　要 地域のイベントや行事等で出前講座等といった福祉について学ぶ機会の提供を行います。住民同士が互いに助け、支え合いながら、共に生きる地域共生社会の実現に向けた意識の醸成に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	地域における福祉教育の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	イベント等での福祉教育機会の提供（５件）	イベント等での福祉教育機会の提供（６件）	イベント等での福祉教育機会の提供（２件）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
生活支援サポーター養成講座にて、福祉教育ボランティアと職員で出前講座を行い、市民に学習の機会を提供しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまなイベントや講座が中止となり依頼が減少したため、目標件数には至りませんでした。	【出前講座実施１件】 手指や資材の消毒等、十分に感染症対策をとりながら講座を行い、受講者に「福祉について」学ぶ機会を提供することができました。

自己評価	今後の方針
B	ボランティア情報紙やホームページによる周知を行うとともに、地域のイベント等の開催状況を注視しながら、できる限り参加して福祉について学ぶ機会の提供に努めます。なお、コロナ禍において参加する際には、感染症対策を行いながらイベントに合わせて内容を検討していきます。 指標目標は、新型コロナウイルスの影響によるイベントの減少を考慮した数値に下方修正しています。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	人にやさしい生活環境の充実
重点施策	② 移動の支援
重点事項・重点的取組	事　業 有償家事援助サービス事業の拡充【再掲】 概　要 高齢者や障害者など、日常生活の援助を必要とする家庭に対して、市民の協力を得て低廉な料金で家事を援助する「有償家事援助サービス」について、買い物支援や通院支援等といった利用ニーズや現状の生活課題に沿ったサービス内容等の見直しを行います。また、実費弁償費についても見直しを図り、サービス協力者の育成に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	有償家事援助サービス事業のサービス内容等の見直し				
指標目標 ※年度初めに設定	市内専門職・県内他社協を対象にアンケート調査実施	新事業移行に向けた準備	事業リニューアル後の周知及び継続的な見直し		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
日常生活の援助を必要とする多くの方が利用しやすいように、令和元年度に実施したアンケート調査を基に、対象やサービス内容等の検討を行い、令和3年4月から事業内容をリニューアルするための準備を行いました。また、社協だより３月１５日号や居宅介護支援事業所にて新しい事業内容等を周知しました。	協力会員確保を図るために、費用体系を見直すことができました。また、新たに利用対象とした妊娠中の女性が２名、社協だよりをご覧になりお申し込みくださいました。

自己評価	今後の方針
A	事業のリニューアルに伴い、新しく対象になった方等に向けてチラシや社協だより等で事業の周知、及び、協力会員の確保を目指してボランティア情報紙等で会員募集を行います。そのほか、関係機関や専門職等に向けて、継続的にＰＲに努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	人にやさしい生活環境の充実
重点施策	② 移動の支援
重点事項・重点的取組	事　業 移動支援を行う団体への育成・支援の検討 概　要 高齢者や障害者等の生活課題である移動困難を抱える人への支援をインフォーマルな社会資源として行うボランティア・NPO 法人、地域活動団体等の育成や活動への支援を検討します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	移動支援を行う団体の育成・支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	社会福祉法人等による移動支援の検討	移動支援に関する勉強会の開催	移動支援に関する勉強会の開催		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
計画していた勉強会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を見送りましたが、公共交通制度を含めた移動支援に関する他市町村での取り組みについて比較検討を行いました。また、クラウドファンディング事業を活用したタクシー券配布事業を実施した際に、アンケート調査を行いました。そのほか、移動販売車の開業にあたり、実施エリア選定等のサポートや、第２層協議体における「買い物支援」において、新規法人の開拓等を行いました。	アンケート調査では、75~85歳の方が通院や買い物で外出する機会が多いことが分かりました。また、移動販売の開業により、移動支援にまつわる新たな資源の開拓につなげることができました。

自己評価	今後の方針
B	生活支援体制整備協議体等で公共交通機関の利用状況を調べるとともに、引き続き、新たな資源開拓に取り組みます。また、第１層・第２層協議体では、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をみながら「移動支援に関する勉強会」の開催を計画します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	人にやさしい生活環境の充実
重点施策	③ 住まいの確保
重点事項・重点的取組	事　業 住居に関する相談への対応 概　要 生活困窮等により住居の確保が困難な方に対して、関係する機関や不動産事業者等と連携し住まいの確保と安定した生活が送れるように支援を行います。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	自立相談支援機関等との連携（窓口の案内、情報の提供・共有）				
指標目標 ※年度初めに設定	自立相談支援事業新規 相談受付件数　144件（国の指標による）	自立相談支援事業新規 相談受付件数　144件（国の指標による）	自立相談支援事業新規 相談受付件数　144件（国の指標による）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
自立相談支援事業業務を市より受託し、生活保護に至る前の段階の自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する相談支援を行いました。また事業利用のためのプラン作成等を通じて、住居の確保が困難な方を住居確保給付金の支給等の支援につなげました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困った方に対し、県社協の特例貸付（総合支援資金）の円滑な手続き及び継続的な支援に繋がるよう支援しました。	新規相談受付件数1,061件 指標目標件数を上回る相談受付を行いました。うち71件が、住居確保給付金の利用に繋がりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、生活にお困りの方が県社協の特例貸付借入の際に自立相談窓口への相談が必要であり、件数が増加しました。

自己評価	今後の方針
A	住居関係の市の担当課や関係機関、事業者等と連携し、住居の確保が困難な方に対して、引き続き住居確保給付金の支給等の必要な制度等へつなぎ、自立相談支援体制の維持に努めます。

A達成　B未達成　C検討中　D中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり
施策細目	人にやさしい生活環境の充実
重点施策	③ 住まいの確保
重点事項・重点的取組	事　業 空き家の福祉的利用の促進 概　要 空き家になっている住宅の福祉的利用の推進を検討します。具体的には、サロンや福祉目的利用の際の公的援助等について周知・調整を図り、利用の促進に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	空き家の福祉的利用の促進				
指標目標 ※年度初めに設定	サロンの空き家活用支援・サロンと連携した空き家情報の把握	サロンの空き家活用支援・サロンと連携した空き家情報の把握	サロン等と連携した空き家情報の把握及び活用支援		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市民に空き家情報の提供について呼びかけを行いましたが、有効な情報把握には至りませんでした。空き家・空き店舗を活用したサロンが市内４か所で活動しており、それらのサロン活動を支援しました。また、新しくサロンを立ち上げる相談があった際には、空き家の活用を含めて検討するように努めました。	福祉活動を始めたい方の相談に応じましたが、最終的に空き家を利用した新たな活動はありませんでした。

自己評価	今後の方針
B	空き家活用に関するサロンへの支援の方法等について、市関係課と協議していきます。また、活動場所を求めているサロンやボランティア団体等との連携を継続し、市等と情報を共有しながら地域の空き家情報の収集に努め、さらなる空き家の福祉的利活用について検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	人と人とのつながりづくり
施策細目	小地域における福祉活動の推進
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（１）【再掲】 概　要 市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入	組織内研修の実施・階層別研修の実施		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型研修の中止を余儀なくされました。代わりにオンライン化が進み、オンラインでの受講環境を整えました。組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、コンプライアンス研修・個人情報保護研修、接遇研修、感染症予防講習会等を実施し、組織内研修の充実を図りました。また、OJTを導入し、若手職員の育成に努めました。	感染症予防講習会の実施により、感染症の予防方法を学びました。また、接遇研修等で相談対応の基礎について改めて学び、信頼性の向上と組織発展の双方に有効な取組を図ることができました。また、OJTは３名の若手職員に年間通して教育・指導を行いました。

自己評価	今後の方針
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、階層別研修において、職員としての自覚の醸成が図れるよう研修内容を検討し、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるよう、職員の育成に努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（２）【再掲】 概　要 日常生活圏域ごとにCSW を配置して、アウトリーチするための相談体制を整えます。CSW は、個別支援とともに、個別支援を通じた地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	調査研究・暫定的なCSW の配置			CSW の配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置には至っておりませんが、市民からの相談対応や民生委員・児童委員活動の支援を通じて、地域住民の生活支援に取り組みました。また、個別支援を通じた地域支援活動の展開を目指し、地域住民とともに新たな支え合いの仕組みづくりに向けた協議を行いました。そのほか、コロナ禍で活動再開に不安を抱えるサロン運営者を対象に個別相談会を開催するなど、地域福祉実践者の活動支援に取り組みました。	コミュニティ・ソーシャル・ワークを通じて、市民の生活不安に寄り添いながら必要な支援につないだり、地域住民との協働による個別ニーズに基づく地域支援活動に取り組むことができました。

自己評価	今後の方針
B	地域ごとにサロン担当者を配置して、よりきめ細かい相談支援活動に取り組みます。また、引き続きコミュニティ・ソーシャル・ワークにより個別支援・地域支援活動に取り組みながら、各職員がスキル向上に務め、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり
施策細目	小地域における福祉活動の推進
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 小地域における住民の福祉活動の組織と活動拠点の整備 概　要 小学校区等の小地域ごとに、住民主体の相談支援活動のための組織づくりについて、地域住民に働きかけを行います。取り組みが可能な地域から「モデル地区」として順次住民組織の体制づくりを開始して、社協のCSW が取組をサポートします。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	調査研究・モデル地区の募集			小地域福祉モデル事業開始	
指標目標 ※年度初めに設定	自治会・サロン等地縁団体との連携強化	生活支援体制整備協議体との協働推進とモデル地区募集準備	モデル地区の選定		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により、サロン活動や会食事業が休止となったため、感染対策を徹底したうえでのサロン活動再開に向けて「個別相談会」を開催しました。一時はサロン全体のうち約７割が休止していましたが、令和３年度に向けて再開するサロンが増えました（約８割が再開）。生活支援体制整備第２層協議体では、訪問型サロン等に取り組みました。また、市地域福祉課と担当者間で、モデル地区の選定に関する情報交換を行いました。	コロナ禍で一時的に地域活動が停滞しましたが、各サロンに働きかけを行い活動再開に向けて動き出すサロンが増えました。モデル地区の選定に向けて市と情報交換を行い、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら選定について検討することとしました。

自己評価	今後の方針
B	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、小地域における住民主体の福祉活動に関するモデル地区の選定について検討します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり
施策細目	小地域における福祉活動の推進
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 当事者組織の支援 概　要 共通の課題を抱えた対等なメンバー同士による相互援助活動や当事者組織づくりを支援し、住民相互の悩みごと解消や支え合い体制の整備に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	当事者組織活動の支援				
指標目標 ※年度初めに設定	当事者の組織化支援と集いの場の確保	当事者の組織化支援と集いの場の確保	当事者の組織化支援と集いの場の確保		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
当事者団体や福祉サロンの運営支援を通じて、当事者の組織化及び集いの場の確保を支援しました。また、当事者団体の運営上の相談に応じ、活動内容や活動場所等に関する情報提供を行いました。	共同募金配分金を活用して、当事者団体２団体及び福祉サロン７か所の支援を行いました。障害のある方や介護に悩む方、社会に参加しにくい若者等を対象とした福祉サロンの活動により、当事者同士の相互交流が深まりました。

自己評価	今後の方針
A	当事者団体や福祉サロン等の運営支援を継続し、共通する悩みや福祉課題を抱えた方及びその家族とともに、交流の場づくりをはじめ当事者組織活動のさらなる活性化を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり
施策細目	小地域における福祉活動の推進
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討 概　要 市と連携して、認知症サポーター養成講座や市民後見人養成講座等の講座受講者が、講座内容を地域において実践していくための仕組みを検討します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	講座受講者の実践活動支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	講座受講者の実践活動支援の検討	講座受講者の実践活動支援の検討	講座受講者の実践活動支援の検討		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
令和２年度については、市と地域包括支援センターが係り、認知症サポーターを対象にステップアップ講座を開催しました。また、ステップアップ講座を受講した方で意見交換会を行っています。そのような中で受講者の方々によるオレンジカフェの立ち上げを支援しました。 市民後見人養成講座の受講者については、講座内容を地域において実践していくための具体的な仕組み検討はできませんでしたが、権利擁護の中核的拠点の設置、講座受講者の活動の受け皿について、市と協議しました。	市と地域包括支援センターが係り、認知症サポーターやステップアップ講座受講者の方々によるオレンジカフェの立ち上げを支援しました。

自己評価	今後の方針
B	講座受講者の受講後の活動の場づくりやコーディネート機能等について、講座受講者の意見を聞きつつ、市と連携しながら実践につながる仕組みづくりの検討を進めていきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり
施策細目	小地域における福祉活動の推進
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 サロン活動の推進 概　要 地域におけるサロン活動の立ち上げ支援・運営支援等を通じて、サロン活動の活性化とともに、サロン数の一層の増加を目指します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	サロン活動の推進				
指標目標 ※年度初めに設定	サロン数の増加（２か所増）	サロン未設置地域への働きかけ・サロン運営支援（２か所増）	サロン未設置地域への働きかけ・サロン運営支援（2か所増）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新規サロン立ち上げの相談はありましたが、新型コロナウイルスの影響によりなかなかスタートできず、サロン数は令和元年度と同数の64でした。また、コロナ禍で休止するサロンが多く、活動再開に向けての個別相談会を開催し、開催に向けての相談や正しい感染症対策等の情報を共有しました。そのほか、出前講座やボランティア紹介、助成金の情報提供などを行い、サロンの運営支援に努めました。	個別相談会には7サロンが参加し、どのようにサロンを再開していけばよいか話し合うことが出来ました。 ・ふれあいいきいきサロン57か所（1,760人参加） ・福祉サロン７か所（211人参加）

自己評価	今後の方針
B	令和２年度は、コロナ禍のため思うようにサロン訪問ができませんでしたが、令和３年度は中学校区ごとの地域別にサロン担当を設け、直接参加者のニーズを把握します。また、本庄市内のサロン未設置自治会を中心に、自治会長や民生委員・児童委員等にサロン設置を働きかけます。そのほか、参加費徴収やその他の方法を通じて、サロンの財源確保や活動の活性化につなげる方法をともに考えるなど、住民主体の促進について働きかけを行います。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり
施策細目	関係機関・団体等との連携強化
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 多職種連携の推進 概　要 複合ニーズ世帯の早期発見・早期解決や「制度の狭間の問題」に適切に対応するため、地域における多職種のネットワーク化を推進し、日々の相談援助活動をより円滑に行うための環境整備に努めます。多職種連携セミナーを開催し、講演や事例報告、グループワーク等を通じて、多職種が互いの業務を理解しながら連携を促進できるための機会提供に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	多職種連携の推進 多職種連携セミナーの開催				
指標目標 ※年度初めに設定	自立相談支援調整会議20回開催	自立相談支援調整会議23回開催 多職種連携ｾﾐﾅｰ開催に向けてのﾆｰｽﾞ把握・検討	自立相談支援調整会議22回開催 多職種連携ｾﾐﾅｰ開催に向けてのﾆｰｽﾞ把握・検討		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市からの受託により、複合的な課題を抱える相談者等が「制度の狭間」に陥らないよう、相談者の必要に応じた包括的な自立相談支援のため、多職種と連携し、自立相談支援調整会議を開催しました。会議の中で、支援方針等を共有・決定し、支援につなげました。	自立相談支援調整会議23回開催。プラン作成した140件のうち、延べ117件を就労自立、継続支援を行い、制度の狭間に陥らないよう支援しました（連携した職種は備考欄に記載）。

自己評価	今後の方針
A	引き続き自立相談支援事業を実施する中で、自立相談支援調整会議を開催し、多職種（ハローワーク、障害者就労支援センター、病院等）との連携を強化します。また、多職種連携セミナー開催に向けてのニーズ等を把握し、実施に向け検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

【連携した職種】市関係課職員・就労支援員・福祉施設相談員・就労準備事業支援員等

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり
施策細目	関係機関・団体等との連携強化
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 社会福祉法人相互の連携体制づくり 概　要 彩の国あんしんセーフティネット事業を推進して、生活困窮者支援の充実を図ります。また、これまで構築してきたネットワークを活かし、市内の社会福祉法人相互の連携体制づくりに努めます。さらに、市内社会福祉法人の地域貢献活動をサポートします。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	彩の国あんしんセーフティネット事業の推進 社会福祉法人の連携体制づくり				
指標目標 ※年度初めに設定	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数15件	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数18件	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数18件		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
他制度等で支援が難しい方や制度等へつなげる間の一時的かつ緊急的な場合に、彩の国あんしんセーフティネット事業を市内社会福祉法人と連携して実施し、現物給付等の支援を行いました。なお、４月～６月の期間は新型コロナウイルス感染症の影響で、訪問支援が難しいことから事業を休止したため、フードバンク事業での対応を行いました。	・彩の国あんしんセーフティネット事業における市内社会福祉法人との連携（市内５法人／相談７件） ・市内１法人による「配食サービスへの協力」は、新型コロナウイルスの影響により休止となりました。

自己評価	今後の方針
B	新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業等で経済的にお困りの方からの相談が増えており、彩の国あんしんセーフティネット事業を継続し、社会福祉法人とのより一層の連携を図り、支援の強化に努めます。加えて、新規参入について働きかけ、同事業に取り組む社会福祉法人の増加を図ります。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり
施策細目	関係機関・団体等との連携強化
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 職能団体等の組織化支援の検討 概　要 地域の福祉専門職等の活動支援・連携強化を目的として、市内職能団体・業種団体等の組織化支援を検討していきます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	職能団体等の組織化支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	職能団体等の組織化支援の検討	職能団体等の組織化支援の検討	職能団体等の組織化支援の検討		

＜令和２年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
具体的な取組はできませんでした。職能団体等の組織化支援については、改めて検討することといたしました。	

自己評価	今後の方針
C	市が実施している多職種連携の事例研究等の動向も注視しながら、職能団体等の組織化支援について社協として何かできるか改めて検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり
施策細目	福祉学習の充実
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 学校等と連携した福祉教育の充実【再掲】 概　要 体験学習だけでない心のバリアフリーを目指した福祉学習の在り方等について学校、行政、当事者等と連携し、検討実施します。併せて、研修会やプログラム集の作成等といった福祉学習を行う教職員への支援を行います。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	教員向け研修会の実施・福祉教育プログラム集の作成		プログラム集に基づいた福祉教育の実施・検証		
指標目標 ※年度初めに設定	プログラム集の素案作成	障害平等研修（DET）の実施・プログラム集完成	プログラム集の完成		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市内の福祉教育推進校へ現在の取組について聞き取りを行い、無理のない新たなプログラムが提案できるよう作成に取り組みましたが、完成には至りませんでした。障害平等研修（DET）は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としました。	障害当事者との交流は動画を用いるなどしながら、学校教員と連携して感染症対策をとりながら体験学習を実施しました。

自己評価	今後の方針
B	プログラム完成に向け、市や関係団体・教員への協力を仰ぐとともに、自校の取組の参考にしていただけるよう、他校の取組を紹介するなどの支援を行います。障害平等研修（DET）は、新型コロナウイルス感染症の状況等を見ながら開催を検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり
施策細目	福祉学習の充実
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 学生の福祉意識の醸成に向けた取り組み 概　要 学生のボランティア活動への参加機会を設け、周知等に努めます。福祉についての学びや地域課題への気づきに導くボランティアメニューの実施を行います。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	ボランティア体験プログラムの実施				
指標目標 ※年度初めに設定	ボランティア体験プログラムメニュー8件	ボランティア体験プログラムメニュー8件	ボランティア体験プログラムメニュー3件実施・80名参加		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、施設体験メニューは全面中止、福祉体験メニューは予定していた内容を変更して、在宅ボランティアの案内に切り替えました。また、コロナ禍でもできる取組を検討し、高齢者への絵手紙や地域の方へのメッセージを募集して社協だよりやSNS等で広く紹介しました。	福祉体験メニュー（おうちでボランティア！）は１４名が参加。小学校低学年から中学生まで幅広い参加があり、福祉意識の醸成につなげることができました。

自己評価	今後の方針
B	福祉体験メニューでは、体験の方法や内容を工夫しながら、質の高い活動の提供に努めます。施設体験メニューでは、参加者に対し、ボランティア活動の意義を深く学びながら、積極性を引き出すための工夫をしていきます。 なお、プログラムメニューの組み立て方を見直した結果、令和３年度指標目標を「ボランティア体験プログラムメニュー数３件実施・80名参加」といたします。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり
施策細目	福祉学習の充実
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 福祉教育ボランティアの育成 概　要 学校や地域で福祉教育を推進する「福祉教育ボランティア」の養成研修やフォローアップ研修等を開催し、福祉教育ボランティアの増員を目指します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	福祉教育ボランティアの育成				
指標目標 ※年度初めに設定	福祉教育ボランティア会議（6回）	ボランティア会議（６回） フォローアップ講座（1回）	福祉教育ボランティア会議（4回）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
福祉教育ボランティア会議は、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら３回開催、フォローアップ講座は開催を見送りました。 また、ホームページやボランティア情報紙で福祉教育ボランティアを募集したほか、生活支援サポーター養成講座受講者に参加を呼びかけるなど、新規ボランティア獲得に努めました。	7名の新規登録がありました（うち5名は生活支援サポーター養成講座受講者）。会議では、新たな視点からの意見や課題提言等があり、活発な意見交換ができました。 ・会議３回開催 ・のべ２５名参加

自己評価	今後の方針
B	コロナ禍において、感染症対策を徹底しながら安全に活動を継続することを最優先に、福祉教育ボランティア会議等の場を活用しながらボランティアの研鑽の場の確保に努めます。また、引き続き広報媒体等を活用しながら、ボランティア募集に努めます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、当面の間は会議回数を減らすなどしながら業務運営に取り組むこととし、指標目標数値を下方修正しております。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり
施策細目	地域人材の確保・育成
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 多様なニーズに対応したボランティアの育成 概　要 地域の生活課題やニーズを把握し、ボランティアを必要とする人のために、各種ボランティアの養成を行っていきます。地域で主体となり活動できるボランティアの育成を目的とした各種講座を開催し、講座参加者が具体的なボランティア活動につながるよう支援します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	各種ボランティア講座の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	講座数７件	講座数８件	講座数４件		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定していた８講座のうち、実施講座は「手話奉仕員養成講座（入門課程）」の１件のみでした。	手話奉仕員養成講座（入門課程）には１０名の参加がありました。

自己評価	今後の方針
B	感染対策を徹底しながら、各種講座を開催して人材育成に努めます。また、講座参加者のその後のボランティア活動支援及びオンラインの活用等について検討していきます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮して、指標目標を下方修正のうえ「講座数４件」としております。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・重点的取組	事　業 ボランティアコーディネート機能の充実 概　要 市や地域団体等と連携し、地域での生活課題や埋もれているボランティアニーズの把握に努め、個別的なニーズへの対応を充実させていきます。また、様々な媒体を活用し、ボランティア情報の発信を積極的に行い、ボランティアニーズとボランティア活動のマッチング件数を増やします。				
年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	個別ボランティアニーズの把握 ボランティアコーディネートにおけるマッチング件数の増加				
指標目標 ※年度初めに設定	地域の情報収集・ボランティア情報発信方法の検討（マッチング80件）	新たな媒体の活用による情報収集・発信（マッチング90件）	新たな媒体の活用による情報収集・発信（マッチング90件）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
ボランティア情報紙を多くの方に見ていただくため、配布先の見直しや発行部数を増加しました。また、これまで市内小中学校（公立）に一律の部数を配布していましたが、福祉担当教諭を通じて学校ごとに希望部数を聞いて配布するよう改めたところ、部数の増加に繋がりました。	ふくしPRコーナーの増設等により、情報紙の発行部数が増えました。在宅ボランティアの活動ニーズが高まっているため、新たなマッチング手法の検討が必要です。【個別ニーズマッチング率】33．3%（3／9）【施設・団体ニーズマッチング率】82．2%（5／6）

自己評価	今後の方針
B	ホームページやSNSを活用して、引き続き、市民の方へのボランティア情報発信の充実を図ります。また、コロナ禍における新たなボランティアニーズを把握して新たな支援の方向性を見出すこと等に努めながら、個別ニーズへのマッチング手法等を検討していきます。

A達成　B未達成　C検討中　D中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり
施策細目	地域人材の確保・育成
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 地域における福祉人材の発掘・育成 概　要 地域の支え合い体制の構築に向けて、地域団体や関係機関等と連携し、小地域で活動する福祉人材を発掘・育成します。また、市と連携して、生活支援体制整備事業における生活支援サポーターの養成に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	地域福祉人材の発掘 生活支援サポーターの養成				
指標目標 ※年度初めに設定	住民向けフォーラムの開催（事業の周知を図る）	サポーター養成講座受講生を対象にスキルアップ講座を開催	生活支援サポーター養成講座開催		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市より受託している第1層生活支援コーディネーター業務を通じて生活支援サポーター養成講座を全５回で実施しました。また、平成２８年度から令和２年度（５年間）の生活支援サポーター養成講座修了者を対象に、スキルアップ講座を開催しました。	生活支援サポーター養成講座は１０名が修了されました。また、スキルアップ講座には２８名が参加されました。 【養成講座修了者総数６８名】

自己評価	今後の方針
A	引き続き、市からの受託により「生活支援サポーター養成講座」を開催し、福祉人材の確保に努めます。また、市との協議により講座修了者を継続的に支援し、住民主体の支え合い活動等につながるようサポートします。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり
施策細目	専門職・支援関係者の育成と支援
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 民生委員・児童委員等支援関係者の支援 概　要 民生委員・児童委員と連携して、地域の見守り体制づくりに努めます。また、地域で活動する支援関係者を支援し、必要な機関等につなぎながら、地域の福祉人材の活動をサポートします。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	支援関係者の支援				
指標目標 ※年度初めに設定	高齢者見守り事業利用者数（配食315件・安否1,010件）	高齢者見守り事業利用者数（配食325件・安否1,035件）	高齢者見守り事業利用者数（安否1,050件）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
地域の見守りが必要な世帯のうち、特に定期的な訪問等が必要な70歳以上の単身高齢者世帯や高齢者のみの世帯等に対して「高齢者見守り事業」を実施して、民生委員・児童委員活動を支援しました。 ●民生委員・児童委員協議会定例会（７地区）参加	感染症対策として接触を避け、おたより等を対象者宅の郵便箱等に入れつつ、電話で安否確認を行っていただきました。配食サービスについては協力団体と協議のうえ令和２年度で終結することとなりました。【利用世帯数】高齢者世帯等安否確認事業1,037件

自己評価	今後の方針
A	安否確認事業をはじめ、地域で活動するうえで活用いただける事業や社会資源について情報発信しながら、民生委員・児童委員活動を支援します。また、民生委員・児童委員を対象にアンケートを実施し、地域のニーズに合わせた事業展開を検討していきます。

A達成　B未達成　C検討中　D中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり
施策細目	専門職・支援関係者の育成と支援
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 多職種連携の推進【再掲】 概　要 複合ニーズ世帯の早期発見・早期解決や「制度の狭間の問題」に適切に対応するため、地域における多職種のネットワーク化を推進し、日々の相談援助活動をより円滑に行うための環境整備に努めます。多職種連携セミナーを開催し、講演や事例報告、グループワーク等を通じて、多職種が互いの業務を理解しながら連携を促進できるための機会提供に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	多職種連携の推進 多職種連携セミナーの開催				
指標目標 ※年度初めに設定	自立相談支援調整会議20回開催	自立相談支援調整会議23回開催 多職種連携ｾﾐﾅｰ開催に向けてのﾆｰｽﾞ把握・検討	自立相談支援調整会議22回開催 多職種連携ｾﾐﾅｰ開催に向けてのﾆｰｽﾞ把握・検討		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
市からの受託により、複合的な課題を抱える相談者等が「制度の狭間」に陥らないよう、相談者の必要に応じた包括的な自立相談支援のため、多職種と連携し、自立相談支援調整会議を開催しました。会議の中で、支援方針等を共有・決定し、支援につなげました。	自立相談支援調整会議23回開催。プラン作成した140件のうち、延べ117件を就労自立、継続支援を行い、制度の狭間に陥らないよう支援しました（連携した職種は備考欄に記載）。

自己評価	今後の方針
A	引き続き自立相談支援事業を実施する中で、自立相談支援調整会議を開催し、多職種（ハローワーク、障害者就労支援センター、病院等）との連携を強化します。また、多職種連携セミナー開催に向けてのニーズ等を把握し、実施に向け検討していきます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

【連携した職種】市関係課職員・就労支援員・福祉施設相談員・就労準備事業支援員等

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	社会福祉協議会の機能強化
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 業務・財務分析や事務局の体制強化 概　要 業務・財務分析を行い、社協事業の点検・整理・見直しに取り組み、事務局職員体制の整備を行います。また、社協の発展強化計画を策定して、業務の推進を計画化します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	業務・財務分析・発展強化計画の策定			職員体制の整備	
指標目標 ※年度初めに設定	事業別実施計画表の作成	組織体制の検討・事業の効果測定等の事業評価体制の構築	組織体制の検討・事業の効果測定等の事業評価の実施		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
効率的かつ効果的な事業展開を行っていくために、事業別実施計画表を作成し、課題抽出及び改善策等の提案・協議を行いました。	各事業の進捗状況を定期的に把握することにより、職員間で情報共有を図ることができました。また、当初計画の達成が困難と思われる事業については、職員間で協議を行い、課題解決に取り組みました。

自己評価	今後の方針
A	外部環境や社協の組織体制、事業の内容、職員等の事業推進体制、財務状況を十分把握し検討した上で計画の策定を行い、事業展開の総合的な調整や、総合的・将来的なビジョンの検討、計画的な事業執行を行うための組織管理体制の構築を検討します。さらに、多様化する社協業務には、専門知識が必要になるため、必要な人材の確保や外部監査の実施など、社協経営に必要な専門家とのネットワークづくりに努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	社会福祉協議会の機能強化
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（1）【再掲】 概　要 市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入	組織内研修の実施・階層別研修の実施		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型研修の中止を余儀なくされました。代わりにオンライン化が進み、オンラインでの受講環境を整えました。組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、コンプライアンス研修・個人情報保護研修、接遇研修、感染症予防講習会等を実施し、組織内研修の充実を図りました。また、OJTを導入し、若手職員の育成に努めました。	感染症予防講習会の実施により、感染症の予防方法を学びました。また、接遇研修等で相談対応の基礎について改めて学び、信頼性の向上と組織発展の双方に有効な取組を図ることができました。また、OJTは３名の若手職員に年間通して教育・指導を行いました。

自己評価	今後の方針
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、階層別研修において、職員としての自覚の醸成が図れるよう研修内容を検討し、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるよう、職員の育成に努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	地域福祉係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	社会福祉協議会の機能強化				
重点施策					
重点事項・重点的取組	事　業 相談支援機能の強化と相談体制の整備（2）【再掲】 概　要 日常生活圏域（中学校区域）ごとにCSW を配置して、市民の生活課題をアウトリーチするための相談体制を整えます。また、CSW は個別支援とともに地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	調査研究・暫定的なCSW の配置			CSW の配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置には至っておりませんが、市民からの相談対応や民生委員・児童委員活動の支援を通じて、地域住民の生活支援に取り組みました。また、個別支援を通じた地域支援活動の展開を目指し、地域住民とともに新たな支え合いの仕組みづくりに向けた協議を行いました。そのほか、コロナ禍で活動再開に不安を抱えるサロン運営者を対象に個別相談会を開催するなど、地域福祉実践者の活動支援に取り組みました。	コミュニティ・ソーシャル・ワークを通じて、市民の生活不安に寄り添いながら必要な支援につないだり、地域住民との協働による個別ニーズに基づく地域支援活動に取り組むことができました。

自己評価	今後の方針
B	地域ごとにサロン担当者を配置して、よりきめ細かい相談支援活動に取り組みます。また、引き続きコミュニティ・ソーシャル・ワークにより個別支援・地域支援活動に取り組みながら、各職員がスキル向上に務め、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	社会福祉協議会の機能強化
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 社会福祉協議会の認知度の向上 概　要 あらゆる媒体を使って、社協の周知に努めます。また、住民向けの講演会や啓発活動に取り組むほか、地域のイベント等に積極的に参加して、社協の認知度向上に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	社協認知度向上				
指標目標 ※年度初めに設定	ホームページなどの閲覧数の増加（ホームページ閲覧数年間40,000件）	ホームページなどの閲覧数の増加。Twitterの開設（ホームページ閲覧数年間50,000件）	ホームページやSNSへの閲覧数及び閲覧人数の増加（ホームページ閲覧数年間60,000件）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
見やすく、分かりやすい社協だよりを目指し「読みたくなる魅力的な社協だより」の作成に努めました。また、SNSやケーブルテレビなど、様々な媒体を活用し、タイムリーな情報発信の充実に取り組み、社協へ触れる機会を増やし、本庄市社協への関心・認知度を高めるよう努めました。	ホームページの更新やSNSもタイムリーに情報を発信するなど、多様な媒体の活用と内容の充実に努め、ホームページ閲覧数は昨年度と比較し1.7倍の伸びがありました。（ホームページ閲覧数70,470件／年）

自己評価	今後の方針
A	社協の活動を「見える化・見せる化」によって、より多くの住民に理解してもらい、あらゆる世代にもっと社協を身近に感じ、興味を持ってもらえるような活動の充実を図ります。社協だよりやホームページに加えてSNSも活用するなど、広報活動を強化して情報発信の充実に努めます。また、閲覧数だけでなく、閲覧人数についても拡大を目指し、ボランティア等社協業務の支援者拡大に努めます。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	社会福祉協議会の機能強化
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 社協会員の増強 概　要 社協の認知度向上に取り組むとともに、地域のイベントや様々な機会を活用し、社協の「会員制度」周知とともに会員加入を呼びかけ、会員の増強に取り組みます。事業の周知とともに、安定的な会費（財源）の確保を目指します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	社協会員の増強				
指標目標 ※年度初めに設定	会員の増強 法人会員件数 290件	会員の増強 法人会員件数 300件	会員の増強 法人会員件数 300件		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
ホームページのほか、社協だよりやチラシ等を作成して、社協会員募集に関する周知を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により経済状況は厳しい中でしたが、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、団体、法人等へ協力依頼を行いました。法人会員件数は目標に届きませんでしたが、普通会員、特別会員を含めた全体の社協会費額は、昨年度を上回る額の協力を得ることができました。	法人会員件数258件 参考：普通会員件数5,010件 特別会員件数1,194件

自己評価	今後の方針
B	新型コロナウイルス感染症の影響により経済状況は厳しいところですが、引き続き、会員増強のため、社協だより、ホームページ、SNSでの周知や事業等を通して関係者及び関係機関への周知を強化し、社協の認知度向上に努めます。特に法人会員の増強に努め、安定的な財源の確保を図ります。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	地域福祉財源の確保
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 会費、寄附金の確保 概　要 社協の会費や寄附金等への協力を個人、団体、企業等に積極的に働きかけ、理解と協力を得ながら持続的な地域福祉財源の確保に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	寄附、会費への協力による地域福祉財源の確保				
指標目標 ※年度初めに設定	社協会費協力金額 5,570,000円 寄附協力金額 2,200,000円	社協会費協力金額 5,600,000円 寄附協力金額 2,300,000円	社協会費協力金額 5,630,000円 寄附協力金額 2,610,000円		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
新型コロナウイルス感染症の影響により経済状況は厳しい中でしたが、個人、団体、企業等に積極的に働きかけ、寄附金及び社協会費への協力へつながるように努めました。	社協会費協力金額：5,610,584円 寄附金協力金額：3,903,145円 ※地域福祉の寄附金　1,019,508円 新型コロナウイルス対策応援寄附金 2,883,637円

自己評価	今後の方針
A	市民や団体、法人等のみなさまに、継続的に寄附金や社協会費への協力を呼びかけ、寄附文化の醸成を図ります。社協だよりやホームページ、SNS、地域イベント等様々な機会を活用して周知を行い、協力件数の増強に努めます。

A達成　B未達成　C検討中　D中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	地域福祉財源の確保
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 事業の透明化 概　要 社協の事業の透明性を高めて、理解と信用を得ることで社協会費の収入増を目指します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	事業内容の公開				
指標目標 ※年度初めに設定	社協会費の増加（5,570,000円）	社協会費の増加（5,600,000円）	社協会費の増加（5,600,000円）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
地域福祉推進の担い手としてふさわしい事業を確実、効率的かつ適正に行うため、福祉サービスの質の向上及び情報公開等による事業経営の透明性の確保に努めるとともに、円滑かつ適正な法人運営を行い、会員募集を積極的に実施しました。	社会福祉法人の電子開示システムにより財務諸表等を定められた期日までに申請・公表を行うとともに、ホームページでの公表も積極的に行い、適正な法人運営を図ったことで、会員増強につながりました。 （令和２年度社協会費5,610,584円）

自己評価	今後の方針
A	社会福祉法人制度改革の推進のため、社協経営組織のガバナンスの強化、社協事業運営の透明性の向上及び財務関係の適正かつ公正な支出管理に努めます。また、運営状況及び財務状況に係る情報をホームページ等での公開を積極的に図ります。さらに、事業内容の公平性及び透明性の確保に努め、より効率的かつ適正な事業実施を図ります。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	地域福祉財源の確保
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 寄附意識の醸成 概　要 社協だよりやホームページ等を通じて、寄附意識の向上や支え合い意識の増進に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	寄附に関しての広報活動				
指標目標 ※年度初めに設定	寄附の機会及び情報の提供（寄附協力額2,200,000円）	寄附の機会及び情報の提供（寄附協力額2,300,000円）	寄附の機会及び情報の提供（寄附協力額2,300,000円）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
寄附者の意向を確認したうえで社協だより等で紹介するとともに、多額寄附者への感謝状贈呈のほか、社会福祉大会で寄附者の功績を称えるなど寄附意識の醸成に努めました。また、寄附に係る税控除の案内など、広く寄附の有効性について市民に周知を図りました。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響によりお困りの方々を支援するため「新型コロナウイルス対策応援金」を募集し、多くのご協力を得ることが出来ました。	社協だよりをはじめとした多様な媒体を活用して、積極的に協力を呼びかけたことで、寄附金への多くのご協力を得ることができました。 （令和２年度 一般寄附1,019,508円、 応援金2,883,637円）

自己評価	今後の方針
A	地域福祉活動の原資となる寄附文化を醸成する上で、地域ニーズを勘案し、より地域に根ざした事業や活動支援を行い、地域住民に寄附金の活用が目に見えて、寄附者が実感できるような取り組みとなるように努めます。また、その取り組みを周知し「寄附の見える化」ができるように情報発信の強化を行います。多様な媒体を活用し、広く寄附の有効性について周知を図ります。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	地域福祉財源の確保
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 基金の適正活用 概　要 基金を適正に活用し、ボランティア支援や社会福祉事業を推進します。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	基金の活用				
指標目標 ※年度初めに設定	活用方法の検討	活用方法の検討及び実施	活用方法の検討及び実施		

＜令和２年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
基金及び積立金規程に基づき、基金や積立金の保有目的及び保有金額の確認を行いました。また、事業計画に沿った基金の活用の検討を行いました。	ボランティア活動に対して、毎年有岡基金の活用を図っておりますが、新たに災害等緊急時に対する運営費に対して地域福祉活動基金の活用を図る計画を策定し、令和３年度予算に反映しました。

自己評価	今後の方針
A	基金や積立金の保有目的及び保有金額を明確にするとともに、地域福祉に関する取り組みの充実に向けて活用を図ります。また、活動内容や実績について適切な情報発信を行い、その透明性を確保します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫

ふくしの杜ほんじょうプラン２１　進捗管理シート

担当係	社会福祉係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化
施策細目	地域福祉財源の確保
重点施策	
重点事項・重点的取組	事　業 共同募金運動の推進 概　要 埼玉県共同募金会本庄市支会事務局として、自治会連合会や民生委員・児童委員協議会、地域の各種団体、企業等の理解と協力を得ながら「赤い羽根共同募金運動」「歳末たすけあい運動」の推進に取り組みます。これら募金活動を通じて、住民の寄附意識の普及と寄附文化の醸成に努めます。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
年次計画（予定）	共同募金運動の推進				
指標目標 ※年度初めに設定	目標額の達成 （7,640,000円）	目標額の達成 （7,640,000円）	目標額の達成 （7,640,000円）		

＜令和2年度実施結果＞

具体的な取組内容	成　果
社協だよりで赤い羽根共同募金活動の周知を図り、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人、福祉施設等へ募金の協力を依頼しました。また、SNSや社協だより等で街頭募金の実施を周知しました。街頭募金については埼玉県弘済会児玉郡市支部、本庄市児玉町更生保護女性会、本庄市立児玉中学校生徒会及び福祉委員の協力を得て、本庄駅及び市内スーパーマーケットで合計3回にわたり募金活動を行いました。	目標額：7,640,000円に対して 実績額：7,949,785円（104.1%）

自己評価	今後の方針
A	共同募金目標額の約８割を占める戸別募金への協力について、新型コロナウイルス感染症の影響により経済状況は厳しい中ですが、共同募金の使い道等についての周知を行い、募金活動への理解を深めていただくことにより、法人募金・職域募金の強化を目指し、新規協力法人の開拓を目指します。また、赤い羽根自動販売機の周知を図り、設置数増を目指します。

Ａ達成　Ｂ未達成　Ｃ検討中　Ｄ中止

≪備考≫